

保育闘争委員会ニュース

公的保育を守り拡充させよう

2022年
5月13日(金)
第173号

発行 = 東京自治労連保育闘争委員会 Tel.03-5940-7951 Fax.03-5940-7957 honbu@tokyo-jichiroren.org

ケア労働者の処遇改善 各地での取り組み

岸田政権が打ち出した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」としてのケア労働者の処遇改善（3%・9,000円の賃上げ）は、①岸田政権の経済対策であり、従来の制度に基づく賃上げではないこと②正規・非正規を問わず、全てのケア労働者が対象であること③ケア労働者の処遇改善を起爆剤に全労働者への賃上げをすすめる先行実施であること④議会での質問などで当局を動かすことが必要なことから、各単組では、職場署名や当局要請、議会会派への要請などが取り込まれました。これらを受けて、各単組ですすむ取り組みを交流しました。

今回は、以下の取り組みを紹介します。



★ 目黒区職労保育園支部 処遇改善を求める署名を提出。副区長要請も実施

目黒区職労保育園支部では、当初ケア労働者への処遇改善が政策として出てきたとき、「これは賃金の低い私立園の話」「公立の私たちには関係のない話」と思っていました。しかし自治労連の処遇改善の学習交流会で学び全国の取り組みを交流する中で、公立園も含めて対象であることや、春闘に先駆けて行う経済対策であることを知りました。保育園支部の組合員に知らせるため、機関紙「たいよう」で特集を組み全組合員に「処遇改善を求める署名」と共に配布しました。組合員からは多くの賃上げを求める声が届き、2週間の短期間の取り組みでしたが、1000筆近い署名が集まりました。



塚田支部長から、清水子育て支援部長に署名を手交

さっそく子育て支援部長と保育課長に署名を手渡し、処遇改善を訴えました。

目黒区職労でも、処遇改善を重点課題として盛り込み、3月25日に副区長要請で訴えました。しかし副区長からは「この事業のおもな目的は、全産業平均を下回る保育士等の賃金水準の改善であると理解しておりますが、統一交渉時に考え方の整理がされているものと認識しています」との回答があり、政府が「公務員も対象である」という考え方を示していることに応える回答はありませんでした。引き続き、9月以降「公定価格」に組み込まれた引き上げ分を、処遇改善に反映させていく取り組みを行っていきます。

★ 墨田区職労保育園支部「処遇改善事業の実施を求める要請署名」を区長に提出！

政府が進める公的部門における処遇改善を求め、3月10日～22日の間で墨田区職労と共に保育園支部は要請署名に取り組みました。3月24日には、墨田区職労と保育園支部（保育園支部支部長・他3名）は、区長要請行動を実施し、門脇保育園支部長より、「政府が進めるコロ

ナ克服・新時代開拓のための経済対策の公的部門（保育等）における処遇改善事業の実施を求める要請署名」341筆を区長に手渡し、実現を要望しました。

門脇保育園支部長は、新型コロナ感染拡大が続く中、私たち自身が感染するリスクを常に抱えながら、子どもの命と保護者の生活を守るために頑張りを続けていることを訴え、重ねて保育所、幼稚園、放課後学童クラブ等のケア労働者の処遇改善のため、総務省の対応を尊重し、速やかに対応するよう要請しました。



山本区長に要請署名を手渡す門脇支部長

山本区長は、「特別区の保育士等の給与水準は、全産業の平均を下回るものではないと認識している。現時点で、特段の対応を図る必要はないもの」と話がありました。

山本区長の回答は、私たちの要請内容に添うものではありませんでしたが、保育園現場は、現在も感染対策が必要で困難が続いている状況です。福祉を守る職員への賃金改善は、今後も自治労連に結集しながら訴えていきたいと思えます。

★公共一般墨田支部 区職労の取り組みと並行して

墨田区職労の取り組みと並行して、公共一般墨田支部も処遇改善にむけて取り組みました。2月3日、区長宛に処遇改善事業の実施に関する要請書を提出。区側は「会計年度任用職員である保育士の現行の報酬水準は適正」との考え方を提示しましたが、保育士は、会計年度任用職員の中でも低水準にあることを具体的に示し、協議を進めてきました。



2月28日に庁舎机上ピラを実施し、3月15日には保育士と保育園職場の処遇改善と格差是正を求める要求書を提出しました。正規職員にも交渉について知らせるため、3月24日付区職労機関紙「日刊すみだ」に交渉経過の記事を掲載しました。

年度末の3月29日に回答があり、『処遇改善の実施は必要なし』とする一方、次年度に最賃引き上げ、給与改定等が行われた場合には全職種での引き上げの検討に言及し、報酬形態の見直しの協議も行うことを確認しました。

処遇改善については、さらに運動の輪を広げるため、東京自治労連の指示に基づき、3月25日全区議会議員に向けた要請書の取り組みも行いました。

平和でいこう！

【傘下の組織や保育関係者に配信・配布してください。】

